

年 組 名 前 :

問1

山梨の天気予報で、平地が「雪」となる

一つの目安は、上空何メートルの気温が何度の時ですか。

・上空何メートル

.....メートル

・気温

.....度より低い

問2

次の文章の①から④に当てはまる言葉を、答えてください。

『山梨で雪になりやすい気圧配置は、

①の冬型の気圧配置が強まった場合と、

もう一つは本州の②の海上を

③に進む「④」の発達です。』

①..... ②.....

③..... ④.....

問3

2014年2月の「バレンタイン豪雪」での、

甲府の積雪は何センチでしたか。

.....センチ

雪か雨か どう予報する？

どのような気象条件だと雪になるのでしょうか。答えてくれたのは、日本ネットワークサービス（NNS、甲府市）気象情報室長で、気象予報士の保坂 悟 さんです。

「雪予報は、主に上空の気温、地上の気温、湿度が判断材料になります。今の時季、山梨の上空で降り始めるのは雪。そのまま解けずに地上に届けば『雪』、途中で解ければ『雨』になります（写真）。上空約1500mの気温を参考にして予想することが多く、マイナス6度より低ければ平地でも雪が降る、というのが一つの目安です。

湿度の影響も受けます。「例えば地上の気温が同じ3度でも、湿度が低いと雪、高いと雨。空気が乾燥していると雪は解けにくくなります」（グラフ）

山梨で雪になりやすい気圧配置は2通りあるといいます。一つは西高東低の冬型の気圧配置が強まった場合。北寄りの強い季節風とともに日本海側からの雪雲が本州 中央の山々を乗り越えて流れ込み、南アルプスや北杜市周辺を中心に雪が降ります。甲府盆地に届くときもあります。

もう一つは本州の南の海上を東に進む「南岸低気圧」の発達です。天気予報でよく見聞きしますね。山梨で大雪となるのはこのパターンです。南岸低気圧が発達し、図1のように陸地から適度に離れた場所を通ると、低気圧が寒気を引き込んで「雪」になるとされます。八丈島の北を通るか南を通るかがその目安ですが、他にもいろいろな要素が絡み合って、山梨の雪が降るかどうかの判断はとても難しいそう。

2014年2月に降った「バレンタイン豪雪」のことを聞いたことがありますか？ この時、甲府の積雪は114cmとなり、過去の最深記録49cm（1998年）の2倍以上になりました。南岸低気圧がもたらす「いつもの雪」と何が違ったのでしょうか。保坂さんは、①降水時間が長かった②降水量が多かった③寒気が続いた一を挙げます。低気圧の進行方向に立ちふさがるように高気圧が発達する「ブロッキング高気圧」と呼ばれる現象が起き、低気圧の移動する速度が遅くなり、降水時間が長くなったそうです（図2）。

山梨の雪の予報は難しく、幅があることを念頭に備えをすることが大切です。（村上裕紀子）

(2024年2月15日付 山梨日日新聞 週刊こぴっと2面)

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します

Copyright © 2024 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.